



社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

「福祉だより信州」は共同募金の
配分金で発行されています。

昭和27年1月11日
第三種郵便物認可第743号
平成29年4月25日発行
(毎月25日発行)

福祉だより 信州

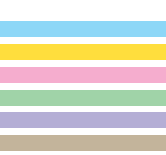
No.
743
2017 5月号



CONTENTS

今月のフクシくん	2
県社協からのイチオシ情報	4
公益事業の推進に向けて	6
WEB INFORMATION	7
住民主体の福祉活動	8

長野県社会福祉協議会
公民キャラクター



Recommend The Fukushima People

飯山市出身。中学時代に福祉の仕事に興味を持ち、飯山市社協に通うように。高校卒業後は岡山県の福祉系大学に進学。卒業後は同県での営業職を経て飯山市に帰郷し、8年間、斑尾高原観光協会に勤務。アウトドアツアーのコーディネーターや観光ガイドを務め、平成28年4月より現職。

福祉とは人と人との関わり。
ボランティアの体験を通し、
その魅力を伝えるやりがいがあります。



高生の頃、ボランティアや社協に携わっていると真面目とか優しそうだと見られることが多かったのですが、福祉の仕事はもっと面白いとみんなに伝えたいと思っていました」

こう話すのは、飯山市社協でボランティアコーディネーターを務める西川遼馬さん。中学時代に授業で市内の福祉施設に行ったことを機に福祉に興味を持ち、社協に通うも周囲が抱くイメージにギャップを感じたことから「もっと勉強して福祉の魅力を伝えよう」と、ボランティアを専門で学べる大学に進学しました。そして、営業職や斑尾高原観光協会での仕事をを経て、昨年、念願だった飯山市社協に入職。

現在は、ボランティアをしたい人と受け入れたい人のニーズをつないだり、若者や地域の人に福祉をもっと身近に感じてもらえる体験などを企画しています。

そんな西川さんが担当した企画のひとつが「雪掘りとうど塾」というイベント。これは飯山の人たちが先生となり、県内外のボランティアに雪かきの講習会を行うもので、当初は地域から厳しいご意見もありました。しかし、何回かの会議を経て当初、ボランティアの若者と地元の人が触れ合うと、お互いの表情が生き生きとしてきて、イベント後は号泣する若者に地元の人が「また飯山に来い」と声をかけ

ていたのだそう。この姿を見て、西川さんは自分が関わったことで人と人がつながるといふ、一番やりたかったことができた実感したと言います。そんな西川さんの目標は、もっと市民と社協のポジションが近くなること。

「今は『社協ってどこにあるの?』と聞かれることもあります。今後は『困ったら社協の西川に頼めばいい』と思っただけの身近な存在になりたいです。そして福祉に限らず、子どもたちに広い世界に興味をもつきっかけをつくれたらいいですね。その上で『ゆくゆくは社協に入りたい』と思ってくれる子どもがいたらうれしいです」



「持ち前の明るさで、誰とも気さくにコミュニケーションが取れる」と周囲から評判の西川さん。何事にも一生懸命に取り組み、頼りにされる存在です。また「職場内は個性や経験を大切にしてくれるので、自信をもって働くことができるのもこの仕事の魅力」と西川さんは言います。

本気で人のために役立つことができ、
自信をもって働ける仕事です

福祉とは一方的なものではなく、
お互いが支え合っているもの

地域の方と課題に目を向け
ともに地域を盛り上げたい



社協は人の役に立ててうれしいと実感できる場所です。想像もできない人たちに会えることは面白く、自分の世界観が広がります。それに、人が好きであれば誰にでも向いている仕事で、みんなが認めて応援してくれ、自分も人を応援できる仕事です。仕事内容も多彩なので、その中で自分に合うものを見つけて働ける魅力もあります。



仕事や生活面など多様な課題を抱えた方の相談に応じ、解決に向けて一緒に考え支援をする支援事業もボランティアも介護も、全て一方的にやるのではなく信頼関係を築きながら取り組むのが福祉の仕事です。その中で幅広い人と接し、いろいろな話ができるのはこの仕事ならではのやりがいです。
小澤 稔さん
(まいさぼ飯山センター長)



障がいや高齢などさまざまな理由で支援を必要とする方を地域で支え、上手に生活できるよう目指していく社協の仕事。うまくいかない時もありますが、ひとつでも道筋が見えた時はやりがいを感じています。利用者さんから学ぶことも多々あり、日々勉強できるのもこの仕事の醍醐味です。
松澤美穂さん
(地域福祉係長)



毎月福祉の現場で活躍する若手スタッフをご紹介します。

飯山市社会福祉協議会
総務課地域福祉係
ボランティアコーディネーター

西川遼馬さん

webでも
ご覧になれます



社会福祉法人長野県社会福祉協議会平成29年度事業計画

「つながり支え合う地域づくり」 ―福祉課題や生活課題への再チャレンジ―

長野県社会福祉協議会 事業方針

平成29年度本会では地域共生社会の実現を目指し、その要となる住民主体の地域福祉活動の推進に、これまで以上に力を注いでまいります。

また、生活就労支援センターまいさぽを中心とした包括的な相談体制の充実などを目指し、次の3つを重点課題としながら、市町村社協や施設経営法人との連携のもと事業の充実に努めます。

- ①地域共生社会の実現に向け、「我が事・丸ごと」の輪を広げていきます。
- ②「あらゆる生活課題を受け止める」包括的な相談体制の充実を図ります。
- ③「笑顔を支えるプロになる」福祉人材確保に、あらゆる手段で取り組みます。

- (1)安心安全な地域づくりと地域福祉活動の推進
 - 住民同士の見守りや助け合い等の小地域福祉活動の推進
 - 生活支援サービス等のネットワーク強化・立ち上げ支援
 - (2)地域福祉推進の基盤・人づくり
 - 地域福祉コーディネーター等の総合相談・生活支援のための人材育成
 - 市町村社協の人材養成や地域福祉基盤の強化
 - (3)ボランティア・市民活動の振興
 - 市町村社協ボランティアセンターの基盤強化・人材養成
 - 社会的包摂の視点を取り入れた福祉教育の推進
 - (4)災害救援活動及び防災・減災活動の推進
 - 10ブロック社協との連携強化
 - 専門職等による災害時福祉広域支援ネットワークの構築
 - 県内社協職員災害初動時における先遣チーム(DSAT)の運営
 - 長野県版災害支援プロジェクトの設立

相談事業部

平成30年度の生活困窮者自立支援制度の見直しに向けて、自立相談支援事



事務局長・原住正、会長・腰原愛正、常務理事・青柳郁生

総務企画部

市町村社協や施設経営法人が、新たな定款に基づく組織・財務体制に円滑に移行できるよう支援するとともに、広報活動の強化や共同で取り組む公益事業を推進します。

- 業、生活福祉資金貸付事業及び日常生活自立支援事業の適切な対応を図り、地域における包括的な相談や生活支援の体制づくりに取り組みます。
- (1)総合相談機能の充実
 - 多様な関係機関・団体等とのネットワークづくり
 - ブロック別ケース検討会の充実
 - (2)日常生活自立支援事業の推進
 - 日常生活自立支援事業の役割の再確認
 - 成年後見制度への移行促進
 - (3)信州パーソナル・サポート事業の着実な実施
 - 自立相談支援事業及び家計相談支援事業の実施



相談事業部
「相談事業を通じた地域づくりを目指しています。」

- (1)総合企画・調整
 - 福祉懇談会の開催
 - 県内社協公益事業「長野県あんしん創造ねっと」の活動
 - (2)総務・庶務・広報
 - 社会福祉法人会計基準の見直し



総務企画部
「皆様のお役に立てる県社協を目指し頑張ります！」

- 支援人材等の育成強化
- まいさぽ出張相談所の機能強化
- (4)生活福祉資金貸付事業の推進
- 生活困窮者自立支援制度との連携強化
- 家計相談支援事業と連動した借受者の自立

福祉人材部

求人・求職ニーズを的確に捉えながら、関係機関・団体と連携した多面的な取り組みを進めるとともに福祉職員生涯研修などを行い、人材の定着・育成を図ります。



福祉人材部
「皆様とともに福祉人材の確保・育成に取り組めます。」

- 機関紙「福祉だより信州」やホームページによる情報発信の強化
- 本会の防災対策の見直し
- (3)退職共済事業の適切な運営
- 社会福祉団体職員退職手当積立基金事業及び民間社会福祉事業従事者退職年金共済事業の適切な運営

地域福祉部

国における地域共生社会の実現に向けた地域福祉施策の再編成を見据えながら、地域福祉のモデルづくりや地域福祉コーディネーターの養成等の取り組み、住民の支え合いやボランティア・市民活動の振興に取り組みます。



地域福祉部
「地域の課題に全力投球チーム一丸で頑張ります。」

会議の開催

- テーマ別の3部会(人材確保・定着、人材育成、イメージアップ)の開催を中心に、今後の福祉サービスを担う人材の確保、定着、育成等に向けた具体的な取り組みを推進します。
- 「信州福祉事業所認証・評価制度(仮称)」運用事業に取り組みます。
- (2)福祉・介護サービスを担う人材の確保・定着支援
- 求人事業所・求職者双方の支援を進め、マッチングの強化
- 「保育士人材バンク」の設置
- 離職介護福祉士等届出制度の実施
- (3)福祉・介護サービスを担う人材の育成・研修事業の推進
- 「ぎやりあねっと」を活用した総合的な研修情報の発信
- 福祉職員生涯研修等の実施
- (4)介護支援専門員等の専門職の養成

- 介護支援専門員の試験及び研修を体系的効果的に運営
- 「介護職員実務者研修」を運営

長野県福祉サービス運営 適正化委員会

第三者的機関として福祉サービスに対する苦情の相談、解決に取り組みます。

WEB INFORMATION

長野県福祉研修実施団体共同サイト「きやりあねっと」をご活用ください



長野県福祉研修実施団体共同サイト「きやりあねっと」は、福祉職員生涯研修や介護支援専門員研修を実施運営する長野県社会福祉協議会や長野県他、長野県内で福祉職員向けの研修を実施する団体・機関45団体が実施する研修情報を掲載するホームページです。平成28年度は130件の研修情報を掲載し、1万6千人の方に利用いただきました。平成29年度も多くの研修情報をお届けしますので、是非ご活用ください。

また、福祉職員向けの研修を実施する団体・機関で、「きやりあねっと」に情報を掲載するには、下記までご相談ください。(事前登録が必要となります)

<http://www.career-net.jp/>

連絡先／長野県社会福祉協議会
福祉人材部 研修グループ



公益事業の推進に向けて

～あんしん創造ねっと編～

長野県内社協公益事業「あんしん創造ねっと」の準備状況をリアルタイムでレポートします。

検討中の「長野県あんしんねっと」に県住宅支援連絡会議からラブコール！

高齢者世帯や若年・子育て世帯、障がい者、低額所得者世帯等について民間賃貸住宅等への入居拒否や家賃負担等の問題が発生しています。県内社協公益事業「長野県あんしん創造ねっと」では、「入居保証サービス」の実施を予定しています。

あんしん創造ねっとの取組(案)を公表したところ、長野県建設部が設置する「長野県居住支援連絡会議」から、オブザーバー参加の依頼がありました。国においては住宅セーフティネットの法整備を検討しているとのことで、3月に開催された同会議には担当者といまざば職員が出席し、あんしん創造ねっとの取組やいまざば現場の状況を説明しました。委員からは質問も相次ぎ、関心の高さが伺えました。

国による「住宅セーフティネット制度」は、平成29年度秋を目標に、法整備を行い、住宅行政や事業者と福祉関係団体との連携による支援の仕組みづくりを目指しています。



住宅確保要配慮者(高齢者、低所得者、被災者、障がい者、子育て家庭等)のための住宅セーフティネット制度(検討中)

公的賃貸住宅の入居促進	入居可能な民間アパートの登録制度	居住支援団体・保証事業者の登録制度	家賃債務保証料補助の検討
-------------	------------------	-------------------	--------------

あんしん創造ねっとの取組

平成29年度 社会福祉施設 総合損害補償 しせつの損害補償

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の **事故・紛争円満解決のために!**

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

賠償事故	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
被害者対応費用(1名につき)	死亡10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)	死亡10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)
お見舞い等	傷害見舞費用	

▶年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】
定員1名あたり
入所: 1,300円
通所: 1,390円

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。



スケールメリットを活かした 充実した補償と 割安な保険料です。

- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 施設職員の補償
- プラン4 社会福祉法人役員等の補償

◆[29年度新設] 看護師の賠償責任補償(プラン1-①オプション2)

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険)「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉 TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度

ボランティア活動保険

全国200万人 加入!!

保険金額

ケガの補償	ケガの種類	プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,320万円(限度額)	1,800万円(限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
賠償責任	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
	葬祭費用保険金(特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
	天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉 TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

道の駅おがわの農林産物直売施設「さんさん市場」。道の駅と言えば観光や買い物の拠点ですが、ここはいろんな人や情報が交わる地域の居場所。里山暮らしの「心地よい不便さ」が人と人とのつながりを作っています。



外に置かれた大きなテーブルは、みんなのたまり場になります。

「心地よい不便さ」が作る暮らし中の宝もの

朝8時半、生産者の女性が地元産の新鮮な野菜を売り場に並べています。こちらの女性は種から育てた野菜の苗をおろしています。売り場は命の芽吹きが感じられる緑色で埋まっていきます。

開店の9時。生産者と話を始める地域の人に、車で来た買い物客も加わりました。レジの前でスタッフと話をし、出来立てのおやきを1つ頬張りながら帰る男性は笑顔で手を振ります。直売所のはずなのに、誰かと誰かが会話を楽しむツールの1つとして品物があ

るのではないかと錯覚してしまいます。

外に置かれた大きな手作りのテーブル。「天気いい日は、生産者の皆さんがここでお茶を飲んだり、地域の人やお客さんが話をする場所になるんです。」看板娘の川又路子さんが教えてくれました。テーブルカバーの下には地域の方々が描いた絵手紙が所狭しと並びます。施設の周りには、地域の花好きさんたちによって植えられた季節の花が競うように咲いています。この小さな地域の居場所は、住民の発表や活動の場としても使われ

ているのです。

土の感触、人の温かさ、追われない自分時間。今の時代では「不便・煩わしい」と言われてしまいそうな、そんなものがとても心地よい。その宝ものに気づいた人たちが、ここを農林産物直売施設という仕組みだけに留めず、自分たちが必要な場所に作り変えていったのでしょう。

団体名／道の駅おがわ農林産物直売施設
「さんさん市場」
TEL 026-269-3582

今月の逸品

食用ほおずきご存知ですか？

蓼科ポンボン（食用ほおずき）は、信州蓼科の地で生産され、プロの料理人や美食家が認める高級食材です。



特定非営利活動法人八ヶ岳福祉農園
茅野市米沢 3889-2
TEL/FAX 0266-82-4831



webでも
ご覧になれます

情報掲示板

県社協からのお知らせ

- 平成29年度 福祉教育推進フォーラム
日程／平成29年5月15日(月) 10:00～16:00
会場／長野県総合教育センター(塩尻市)
- 平成29年度 地域福祉コーディネーター養成研修
日程／平成29年6月12日(月) 9:30～16:30ほか全7回
会場／飯山市公民館 講堂(飯山市)ほか

新着助成金情報

- 2017年度(第43回)社会福祉助成金
問い合わせ先／社会福祉法人 丸紅基金
応募締切／平成29年5月31日(水)
TEL / 03-3282-7591
URL / <http://www.marubeni.or.jp/promote/guidelines/tabid/70/Default.aspx>
- 地域支え合い活動 助成プログラム
問い合わせ先／一般社団法人 全国老人給食協会 事務局
応募締切／平成29年6月30日(金)
TEL / 03-5426-2547
URL / <http://www.mow.jp/pdf/2017youkou.pdf>

- ご感想、お問合せ、掲載希望等は下記へお寄せください。

長野県社会福祉協議会
総務企画部 総務グループ
TEL 026-228-4244 FAX 026-228-0130
E-mail soumu@nsyakyu.or.jp

webでも
ご覧になれます



OUTSIDER ART



【無題】
近藤康隆(こんどうやすたか)
1973年生
駒ヶ根市在住

こんもりと盛り上げられた山、山…近づいてみれば小さな電気部品がお皿の上に盛り上げられている。この不思議な造形は2016年12月～2017年1月に開催された『ザワメキアート展』で紹介された。

作者が利用する福祉事業所では、この電気部品の導線を切り離してリサイクルに回す作業をしているが、近藤氏はその作業には関心がないらしく、持ち込まれた部品を自分の作業机に持ってきて、植木鉢の受け皿など、身近で見つけたお皿にそれを盛り上げている。支援員によれば、色を選ぶこと、その盛り上げ方にも作者自身のこだわりがあるらしい。しかしそのルールは不明だ。黙して語らず。そこに不思議な造形があるだけ。